

# 持続可能なエネルギー移行戦略：ネットゼロ版

参加者向けブリーフィングシート

## 背景および開始時のシナリオ

ソラリアはアジア太平洋地域に位置する国である。ソラリア政府は国民の福祉に尽力しているが、同時に、大きく成長を続ける自国経済に対して気候変動がもたらす脅威についても懸念している。

ソラリア政府は、より持続可能なエネルギーシステムへの移行を加速させることを目指してきた。これは、2050年までのネットゼロ排出という目標の達成に向けた主要な柱の一つである。

そのようなシステムは、再生可能エネルギーおよびそれを支える基盤技術を基礎とし、エネルギー需要をより低く、かつ効率的に抑え、環境および社会への影響を最小限にとどめるものである。

しかし、このビジョンを現場での具体的な行動へと落とし込むことは、当初の想定よりも困難であることが明らかになっている。そして、共通の戦略を見いだすためには、多様な立場や見解を結集させる必要がある。

首都であるリニュー・シティは、都市、産業、交通インフラが高度に整備されていることから、実証の場となることが見込まれている。

### 本設定に関する主な事実：

- ソラリアは半島国家であり、同盟国と国境を接している。
- 同国のエネルギー部門は、化石燃料に大きく依存している。
- 同国の技術産業および製造業は高度に発展しており、近年はクリーンエネルギー分野への多くの投資を呼び込んでいる。
- 同国の化石燃料インフラは十分に整備されているが、国内生産は限られており、石炭・石油・ガスを大量に輸入しているため、エネルギー安全保障上の懸念が生じている。
- リニュー・シティは国内最大の都市であり、都市化が進行していることから、都市計画上の課題が生じている。
- 大気汚染は年々悪化している。



- ソラリアはまた、自然災害にも脆弱であり、とりわけ台風、地震、津波の影響を受けやすい。

## 重要な用語

- ステークホルダー:ステークホルダーカードに記載されたとおり、あなたのグループが担う役割
- アクション:ネットゼロ・ポイントを獲得するために、あなたのグループが実施する必要のある取組。
  - ネットゼロ・ポイント(NZP):ゲームにおける進捗の成功度を測るポイント。アクションを実施するとネットゼロ・ポイントが付与される。第2ラウンドでは、勝利するために、すべてのグループが協力して合計200NZP分のアクションを実施しなければならない。
  - テクノロジー・ポイント(TP):各ステークホルダーに割り当てられるポイントで、アクションの実施に使用できるもの。各主体の一般的な技術力を反映している。
  - ファイナンス・ポイント(FP):各ステークホルダーに割り当てられるポイントで、アクションの実施に使用できるもの。各主体の一般的な資金力を反映している。
  - パートナー(第2ラウンド関連):各アクションは、付与されるNZPの数に応じて、成功裏に実施するために1~3のパートナーを必要とする。
- 略語:
  - RE:再生可能エネルギー
  - EE:エネルギー効率(省エネ)
  - SE:持続可能なエネルギー



## 指示事項

### セットアップ

- あなたはグループに割り当てられる。各グループは、ソラリア／リニュー・シティのエネルギー分野で活動する一つのステークホルダーを代表する。グループ編成は、第1ラウンドおよび第2ラウンドを通じて変更されない。
- 各グループに与えられるもの:
  - **1ステークホルダー・カード (#1)**
    - カードには、あなたの役割に加え、使用可能なファイナンス・ポイント(FP)およびテクノロジー・ポイント(TP)の数が示されている。
      - ヒント:ポイントの使用状況を把握するため、カードに自由にメモを取ってよい。
  - アクションの一覧(#2)があり、その中から実施するものを選択しなければならない。
    - 各アクションは一定の排出削減につながり、その結果として所定の「ネットゼロ・ポイント(NZP)」が付与される。
  - 各種アクションに関する説明資料(#3)(情報のみ)
  - 第2ラウンドに向けて、発言できる1名を、グループの代表者として指名してください。

### 目的

- 第1ラウンドでは、各グループ内のみで活動する。
- あなたの目標は、グループとして100ネットゼロ・ポイント以上を達成できるよう、優先的に実施したいアクションを特定することである。
  - 自分が担っている役割の立場を常に念頭に置くこと。このゲームでは、普段の自分ではなく、「その役割そのもの」として行動する。
- 各アクションを実施すると一定のNZPが得られるが、コストも伴う。すなわち、ファイナンス・ポイント(FP)またはテクノロジー・ポイント(TP)を消費し、さらに他のパートナーとの協働が必要となる。
  - 各アクションには、必要となるファイナンス・ポイント(FP)またはテクノロジー・ポイント(TP)の数が示されている。
  - また、そのアクションを実施するために必要な追加のパートナー数も示されている。



- 第2ラウンドでは、他のグループと協働・協議を行う。すべてのグループが集まり、アクションを実施するための交渉を開始し、パートナーを見つける。
- 各グループは順番に発言し、アクションを提案し、それが自分たちにとって妥当である理由を述べ、想定されるパートナーを提示することができる。
  - 他のグループは、TPやFPを提供して参加し、特定のアクションの実施を共同で支援することができる。
- 各グループには、提案されたアクションを阻止するために1回だけ使用できる拒否権(veto)が与えられている。
- ゲームは、合計で200NZPが達成された時点で勝利となる。

注意:興味深い連携や、実施の障害となりそうな要素にも注目すること。

